



12号

よむよむ通信

令和8年10月1日

**読書は最強の脳トレ**

教育研究発表会

この夏、東北大学応用認知神経科学センターの榎 浩平 氏をお招きし、「スマホ依存」をテーマに、お話を伺いました。学力や脳の発達との因果関係を踏まえながら、読書や音読と学力との関係を詳しくご講演いただきました。

読むことの力

講演の中で、特に印象に残ったのが、「音読は最高の脳トレ」というお話です。また、子どもへの読み聞かせは、情緒の安定にも大きな効果があるというお話もありました。絵本や本を開きながら大人と時間を共有することは、子どもの豊かな心を育み、安心して社会と向き合うための土台となります。



「この本、おもしろい!」「続きが気になる!」そんな一冊との出会いはありませんか? 秋は、じっくりと本を楽しむ「読書の秋」です。物語の世界を旅したり、知らないことを調べたり、誰かの考えに触れたり。本を読むことで、私たちは実際には行ったことのない場所へ行き、会ったことのない人と出会うことができます。

この秋は、いつもより少しだけ本を手を取る時間を増やしてみませんか。あなたを待っている一冊が、きっとどこかにあります。

読書活動推進への取組



各校では、これまでの読書活動の「重点化」から、さらに一步進めた「習慣化」へ向けて、様々な取組を行っています。例えば、これまで週に数回だった朝の読書時間を「毎日朝読書」へと変更し、一日の始まりを落ち着いた気持ちでスタートできるように取り組んでいる中学校があります。

また、物語への興味・関心を一層高めるために、読書遊びや本の楽しさを体感する活動である「アニメーション」を取り入れ、子どもたちが主体的に本と関わる工夫をしている学校もあります。こうした学校の工夫により、子どもたちが日常的に本に親しむ環境づくりが着実に広がっています。

学校生活の中で、朝読書や授業での音読、図書の時間、読み聞かせなど、日々行っている「本を読む・本を聴く」という時間。その一つ一つが、子どもたちの言葉や心を育てる時間になっているのかもしれません。

この秋、子どもたちが一冊の本と出会う機会を、ぜひ大切にしていきたいですね。



本との出会いをつくる入口に

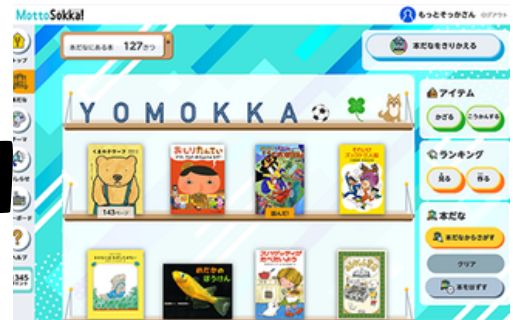
一人一台端末から利用できる『Yomokka!』では、たくさんの本の中から、子どもたちが興味のある本や、読んでみたい本を探すことができます。

本を探すきっかけはデジタルでも！？そこから「この本、読んでみたい！」という一冊に出会ったら、ぜひ紙の本も手に取ってみてください。

この秋、『Yomokka!』をきっかけに、子どもたちと本との新しい出会いをつくっていきましょう。



Yomokka画面



Yomokka! って どんなもの?

Yomokka! は、みなさんの一人一台端末で使える、**本をさがすためのサービス**です。たくさんの本の中から、自分の好きな本や読みたい本を見つけることができます。

「どんな本を読もうかな?」
「おもしろい本を見つけたい!」と思ったら、ぜひ Yomokka! をのぞいてみてください。



タブレットで
かんたんに
使えるよ!

Yomokka! のいいところ

- 1 自分の「好き」が見つかる!**
ジャンルやテーマから、自分にぴったりの本を探せます。
物語 科学 生きもの スポーツ など
- 2 おすすめの本がわかる!**
みんなが読んでいる本や、先生からのおすすめの本を見ることができます。
- 3 気になる本を見つけられる!**
気になる本を見つけたら、「あとで読む」や「本棚に入れる」ことができます。
- 4 いつでもどこでも使える!**
学校でも、家でも、自分のペースで本を探せます。

使い方はとってもかんたん!

- 1 Yomokka! をひらく**
Yomokka!
- 2 気になる本をさがす**
Q たのしい
- 3 読んでみよう!**

きっと
あなたのお気に入りの
一冊が見つかるよ!

この秋、たくさんの本と出会って、
あなたの世界をもっと広げてみませんか?

